

5月15日、

洞爺湖遊歩道駅前
棧橋前の特設会場で、第34回洞爺湖観光朝市（観光朝市協議会主催）がオープンし、町内で採れた春の新鮮な野菜が並べられました。



にぎわいをみせた観光朝市

当日は、アスパラ、ウド、フキ、タケノコなどのもぎたての春野菜や山菜が市価よりも安く提供され、地域住民やホテル宿泊客が多く訪れました。

同朝市は、9月25日までの毎週日曜日の午前6時～8時までの開催で、これからも季節に合わせた新鮮な地元の野菜や特産品が提供されます。

春野菜や山菜を格安で提供 観光朝市オープン

縄文人の生活を体験 第3回とうや湖縄文まつり

縄文人の暮らしや文化を体験する、第3回とうや湖縄文まつり（同実行委員会主催）が、5月15日入江貝塚公園で開かれ、火おこしや勾玉づくり、弓矢などの体験を行い、縄文の世界と触れ合いました。

アフリカ太鼓の「トヤトヤ」の演奏でオープニング。火おこしコーナーでは、なかなかおきない火に子どもらは、悪戦苦闘していました。

昼食時には、地元ホタテやサケなどで作った縄文鍋も販売され、おいしい笑顔が広がっていました。



弓矢に挑戦する子どもら

洞爺湖に春を告げる「洞爺湖マラソン2011」 道内外から約5,700人参加

春の洞爺湖を飾る「洞爺湖マラソン2011」（室蘭陸上競技協会、洞爺湖町など主催）が、5月22日湖畔遊歩道広場を起点に開催されました。

今年も、道内外から5,679人が参加。震災の影響もあり、昨年より約200人下回りましたが、フルマラソン参加者は約60人増えました。

前日からの雨で土砂崩れが起き、フルマラソンコースが20キロに短縮されるというアクシデントがありましたが、そのほかの

10キロ、5キロ、2キロの各コースでは、ベスト記録を目指して、健脚を競い合いました。



スタートと同時に勢いよく飛び出す選手ら

小学校の運動会を前に、洞爺湖スポーツクラブでは、5回シリーズで「少年、少女走り方教室」を開きました。

初日の5月24日は、約35人の小学生が参加。新谷先生の指導の下、①腕をふる②膝を上げる③前をむくの三つのポイントを確認しながら、ラダー（はしご）を使って歩き方の練習を行いました。

このほか同クラブでは、いろいろなスポーツを通じて交流をはかろうと活動をしています。会員になってスポーツを楽しみたい人を募集しています。連絡先事務局（加藤 ☎76-4174）。

運動会で1等賞を伝授 少年、少女走り方教室



基本を守りながら練習する子どもら